

## 20社寺で来春「出雲霊場」

'04/12/8



## 神話結ぶ「巡拝」コース 証しの朱印 合同祭事も

神話の地・島根県出雲地方とその周辺にある二十社寺が手を結び、神仏、宗派を超えた「巡礼」ならぬ「巡拝」コースを来年四月に開く。「出雲國神仏霊場」として売り出すため、七日、二十社寺で「出雲の国社寺縁座の会」を発足した。四国八十八カ所などで知られる霊場巡りが、神仏混合で立ち上がるケースは全国的にも珍しいという。

社寺や地域の活性化に向けて、出雲大社、日御碕神社(ともに大社町)、一畑寺(平田市)、美保神社(美保関町)、清水寺(安来市)の宮司や住職らが集まったのが始まり。凶悪事件やテロが絶えない社会情勢に、「神話のふるさとで自身の心を見つめ直す機会を」と思いついたという。

三年がかりで立ち上げた縁座の会には、趣旨に賛同し、大勢の巡拝者の受け入れが可能な社寺が名を連ねた。出雲神話ゆかりの神社、四季折々の花や紅葉の名所として知られる寺院などがある。

各霊場は宍道湖・中海の周辺を「8」の字になるように番号付け。巡拝の証しとして、参拝者に社寺の名称や日付などの朱印を押す。二十カ所を制覇すると一つの輪にまとめる「珠」を配るなど、仕掛けを検討中だ。年一回は合同祭事も開く予定。今後、行政や観光関連の企業などに協力を呼び掛ける。

会員らによると、明治時代の神仏分離の政策以来、神社と寺院の交流は絶えていたという。会の名誉座長になった出雲大社の千家尊祐宮司は「古くより出雲人は神仏分け隔てなくお参りしてきた。百年来途絶えた寺社の連携を復活させ、参拝者の清新な願いを届けられるよう手をつないで力を尽くそう」と呼び掛けた。



- |       |      |        |        |        |       |
|-------|------|--------|--------|--------|-------|
| ①出雲大社 | ②鯛瀬寺 | ③一畑寺   | ④雲樹寺   | ⑤平濱八幡宮 | ⑥武内神社 |
| ⑦佐太神社 | ⑧月照寺 | ⑨八重垣神社 | ⑩熊野大社  | ⑪須我神社  | ⑫聖寺   |
| ⑬賣布神社 | ⑭華蔵寺 | ⑮美保神社  | ⑯大神山神社 | ⑰大須佐神社 | ⑱長浜神社 |
| ⑲山寺   | ⑳清水寺 |        |        |        | 日御碕神社 |

霊場開きは四月二十三日の予定。出雲大社で合同祭事を営む。

**【写真説明】**宍道湖・中海周辺に点在する寺社をイメージした出雲國神仏霊場のシンボルマーク。無限大の発展も祈り、PRする